

諏訪市埋蔵文化財調査報告第63集

市内遺跡試掘調査報告書

(平成19年度)

— 長野県諏訪市内遺跡試掘調査報告書 —

2008.3

諏訪市教育委員会

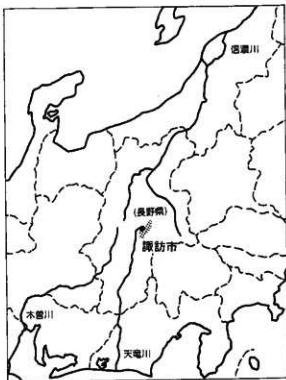
例 言

1. 本書は、長野県諏訪市内遺跡の平成19年度試掘調査報告書である。
2. 本調査は、諏訪市教育委員会が調査主体者となり、諏訪市教育委員会の編成する諏訪市遺跡調査団が調査を担当した。
3. それぞれの現場における調査期間は、遺跡ごとに記載してある。報告書作成作業は平成20年1月から平成20年3月まで、諏訪市埋蔵文化財整理室で行った。
4. 本文中における水糸レベルは可能な限り絶対標高を使用している。その他は現地における地形図からの読み取りの標高である。
5. 現場における記録と整理作業の分担は次の通りである。
遺構等実測……中島透・赤塚彰子・藤森敏幸・藤森豊
遺物水洗・注記作業……赤塚彰子・藤森敏幸
遺物実測および遺構遺物トレース・図面写真整理……赤塚彰子・高本政光・古畑しずる・中島透
6. 本書の編集については諏訪市教育委員会事務局が担当した。
7. 調査の記録は、諏訪市教育委員会にて保管している。
各遺跡の略称および出土遺物の注記は以下の通りである。
(清水遺跡・・・SSMA9・SSMA10 穴場遺跡・・・AN14 御社宮司社遺跡・・・MSHA3)
8. 発掘調査および報告書作成に際し、調査・整理作業参加者のほかに下記の方々をはじめ多くの方々にご指導・ご教示を得た。記して感謝申し上げます。(順不同、敬称略)
長野県教育委員会文化財・生涯学習課 長野県諏訪建設事務所 丸山宗郎 宮坂恵介 小泉慎吾
小泉節夫 中村友則・中村由貴 平林康邦 渡辺弘泰 渡辺吉郎 渡辺芳臣 花岡秀朗

(目次)

例言・目次

- I. 市内遺跡試掘調査について……………1
 - II. 穴場遺跡試掘調査(第14次)……………3
 - III. 清水遺跡試掘調査(第9次)……………5
 - IV. 清水遺跡試掘調査(第10次)……………7
 - V. 御社宮司社遺跡試掘調査(第3次)……………9
- 報告書抄録
写真図版



I 市内遺跡試掘調査について

1 今年度の試掘調査

諏訪市内には現在220箇所以上にのぼる埋蔵文化財包蔵地が確認されている。これらの遺跡内における開発行為は例年発生しているが、以前に多かった規模の大きな事例は年々少なくなり、最近では個人住宅などの小規模なものが主体となっている。諏訪市教育委員会ではこれらの開発行為に迅速に対応するため、諏訪市遺跡調査団を編成し、国庫補助事業として「市内遺跡発掘調査事業」を実施し、埋蔵文化財の保護を図っているところである。

本年度は、埋蔵文化財包蔵地内での開発行為に伴う発掘届の提出は6件あり、昨年度と比べると半減することとなった。このうち、4件について試掘・確認調査を実施したが、過去数度にわたって発掘調査が行われた遺跡での調査が比較的多く、従ってこれまで得られてきたデータをさらに充実させる成果を挙げることができた。ここに、その内容についてそれぞれ報告したい。

・補助事業決定の経過（抄）

平成19年4月9日付け19生学文第1号

平成19年度国宝重要文化財等保存整備費補助金交付申請書 市内遺跡発掘調査事業（国庫）

平成19年6月1日付け19庁財第70号（19教文1-26号）

平成19年度国宝重要文化財等保存整備費補助金交付決定通知 市内遺跡発掘調査事業（国庫）

2 調査組織

諏訪市遺跡調査団（平成19年度）

団 長 細野 祐（諏訪市教育委員会 教育長）

副団長 岩波 文明（諏訪市教育委員会 教育次長）

宮坂 光昭（諏訪市文化財専門審議会委員）

調査担当 中島 透（諏訪市教育委員会学芸員）

調査団員（調査参加者）

赤堀彰子・神奴勝正・高木政光・藤森敏幸・藤森豊・古畑しずる

（事務局）

事務局長 小澤 秀昭（諏訪市教育委員会 生涯学習課長）

事務主幹 栗林 茂（諏訪市教育委員会 生涯学習課文化財係長）

事務局員 小林 純子・中島 透（諏訪市教育委員会 生涯学習課文化財係）



第1図 平成19年度調査遺跡位置図 (1/50000)

Ⅱ 穴場遺跡 (第14次)

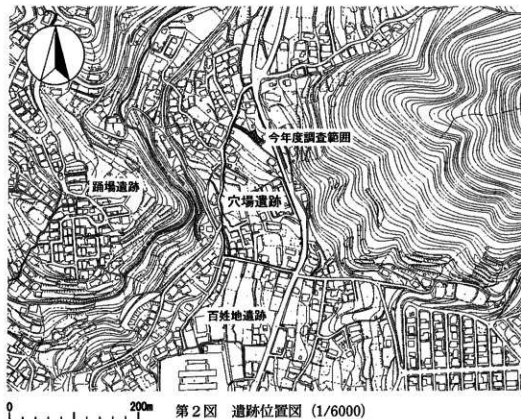
- | | | | |
|---------|----------------|---------|-----------------|
| 1. 所在地 | 諏訪市上諏訪6358-1他 | 5. 調査担当 | 中島 透 |
| 2. 調査期間 | 平成19年5月9日 | 6. 検出遺構 | なし |
| 3. 調査面積 | 8㎡ | 7. 出土遺物 | 土器片・陶磁器片(縄文~中世) |
| 4. 調査目的 | 個人住宅建設に先立つ試掘調査 | | 黒曜石片 |

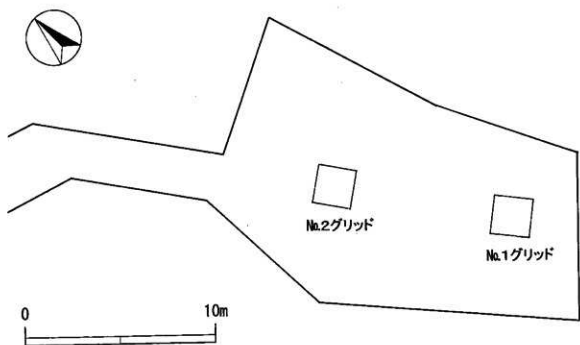
8. 調査概要

本遺跡は霧ヶ峰の麓から諏訪盆地へ流れ込む角間川左岸の緩斜面上に位置する(第2図)。市内有数の縄文時代の大集落遺跡として知られており、これまで13次にわたる調査が行われ、特に昭和57年に行われた第5次調査ではほぼ完全の蛇体装飾文付釣手土器をはじめ祭祀の性格が強いと見られる住居跡と遺物が見つかるなど、多大な成果を挙げている遺跡でもある。

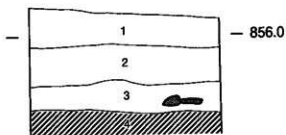
今回、遺跡最北部に近い畑地で個人住宅建設の計画があり、事前に試掘調査を行った。2m×2mのグリッドを2箇所設定し手掘りで掘り下げたところ(第3・4図)、若干の遺物が出土したものの遺構の検出はなく、過去の造成等による攪乱により包含層はほとんど残っていないものと判断された。

過去の調査で遺構が濃密に分布しているのは遺跡の南方部で、今回の調査地点はこれまで調査がほとんどなされていない場所であった。従って今回調査では遺跡北側の状況について情報を得ることが大きな目的の一つでもあったが、調査の結果によりこの周辺は遺構の残存状況が希薄であることがわかり、今後の本遺跡の保護に貴重なデータを得ることとなった。





第3図 調査区位置図 (1/200)

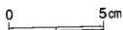
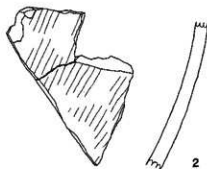
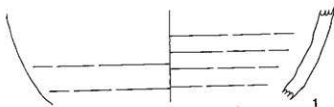


【No.2グリッド南面セクション図】

- | | |
|--------|---------------------------------|
| 1 表土 | 整地層。 |
| 2 暗褐色土 | 旧耕作土。 |
| 3 暗褐色土 | 2層に似るもしまりなくフカフカした土。人頭大の礫を多量に含む。 |
| 4 黄褐色土 | ローム土。多量の礫を含む。しまりあり、粘性弱い。 |



第4図 調査グリッドセクション図 (1/40)



第5図 遺物実測図 (1/2)

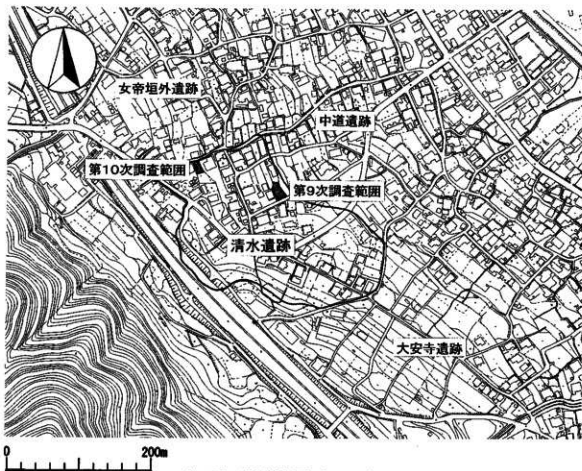
Ⅲ 清水遺跡（第9次）

- | | | | |
|---------|----------------|---------|-----------|
| 1. 所在地 | 諏訪市豊田3456-1 | 5. 調査担当 | 中島 透 |
| 2. 調査期間 | 平成19年6月14日～15日 | 6. 検出遺構 | なし |
| 3. 調査面積 | 8㎡ | 7. 出土遺物 | 陶磁器片（中近世） |
| 4. 調査目的 | 個人住宅建設に先立つ試掘調査 | | 黒曜石片 |

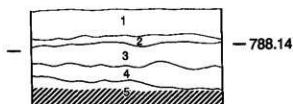
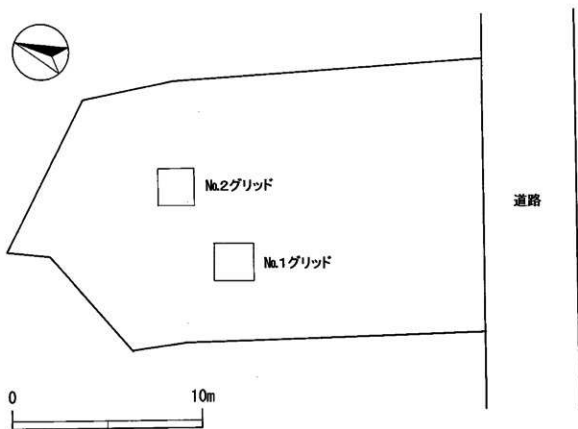
8. 調査概要

本遺跡は諏訪盆地の西側、有賀峠の登り口に広がる斜面上に位置する（第6図）。本遺跡に隣接して女帝垣外遺跡、中道遺跡や大安寺遺跡などがあり、またその延長上には十二ノ后・千鹿頭社遺跡が続くなど、市内有数の大集落遺跡が集中する地域である。また、本遺跡範囲内にある清水古墳はじめ、小丸山古墳や塚屋古墳などの古墳も点在し、古くから重要な場所であったことも推測できる。

今回、遺跡東側の縁辺部の畑地で個人住宅の建設計画があり、それに先立って試掘調査を行った。2m×2mの試掘坑を2箇所設定し、手掘りにより調査した結果（第7・8図）、若干の遺物が出土したが遺構は検出されなかった。本遺跡については過去の調査事例の多さの割に遺構の発見事例がごくわずかであるため、今後もデータの収集に努めたい。

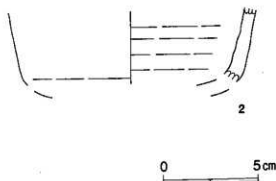
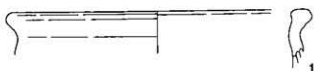


第6図 遺跡位置図（1/5000）



【No.2グリッド北面セクション図】

- | | |
|--------|--------------------------------------|
| 1 表土 | 耕作土。 |
| 2 暗褐色土 | しまり非常にあり硬質、粘性強い。
旧水田面か。 |
| 3 褐色土 | しまり、粘性ともに弱い。 |
| 4 暗褐色土 | しまり非常にあり硬質、粘性弱い。
径10cm前後の礫を多量に含む。 |
| 5 赤褐色土 | 灰色を帯びた砂質土層。しまりあり、
粘性弱い。礫を大量に含む。 |



第9図 遺物実測図 (1/2)

第8図 調査グリッドセクション図 (1/40)

IV 清水遺跡 (第10次)

- | | | | |
|---------|-----------------|---------|------------------|
| 1. 所在地 | 諏訪市豊田3652-2 | 5. 調査担当 | 中島 透 |
| 2. 調査期間 | 平成19年12月21日～25日 | 6. 検出遺構 | 住居跡 (縄文) |
| 3. 調査面積 | 8㎡ | 7. 出土遺物 | 土器片・陶磁器片 (縄文～近代) |
| 4. 調査目的 | 個人住宅建設に先立つ試掘調査 | | 黒曜石片
骨製品 |

8. 調査概要

前述の第9次調査の地点から100mほど離れた、遺跡北側の縁辺部に位置する(第6図参照)。斜面を20mほど下がると平成7年度に実施した第6次調査地点があるが、このときの調査では遺構は見つからず、またもともと本遺跡の西半部は調査事例が少ないこともあり、事前の情報が少ない場所であった。

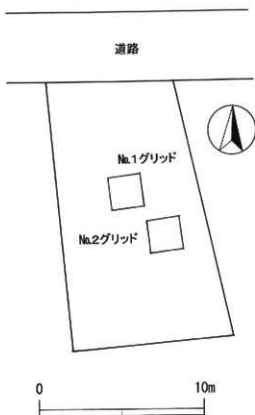
今回、この畑地で個人住宅が建設されることになったが、今回調査地点はさほど地形の変更が認められないように思われたため、事前に試掘調査を行うこととした。2m×2mのグリッドを2箇所設定し掘り下げたところ(第10・11図)、№1グリッドで垂直に立った平石が一例に並んでいる状況が確認された。平石の北側は6層の部分で水が湧き始めており、当初は水路や土留めのようなものを想定したが、平石の南側の底から一面に明瞭なローム土が検出され、また比較的硬化している状況が認められた。このためこの遺構は住居跡の一部である可能性が高いと判断した。

№2グリッドではそのような遺構の検出はなかったが、平石のラインからすると住居跡のプランはすぐ南東側で廻っている№2グリッドにもかかると予想されたので、改めて精査したところ、№1グリッドの床面と想定される面のレベルを過ぎても住居跡に関わるものが検出されず、水が湧出し始めたため、このグリッドでの遺構の残存はないものと判断した。従って、住居跡とは考えられるものの部分的な残存状況であると思われる。

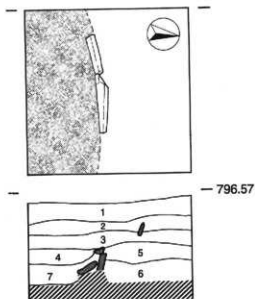
遺物はそれほど多くはないが、そのうちの縄文中期の土器、平安時代の灰釉陶器、中世の内耳土器を第12図に示した。床面直上にあたる出土資料はなかった。

これらの結果を受け、改めて事業者と協議した結果、調査期間上の制約の問題もあったが、住宅の基礎工事の内容を再度検討し遺構の破壊は免れることになったため、土壌により遺構保護のための処置を施して埋め戻し、遺構の保存を図ることとした。

本遺跡は過去9次にわたる調査事例があるがこれまで遺構の検出事例は少なく、直近では平成13年度実施の第8次調査において弥生時代中期の住居跡の発見がある程度である。従って、今回新たな遺構の確認ができたことは本遺跡の性格を知る上で重要なデータとなると思われ、また今後他の地点での新たな遺構の発見にも期待されることである。



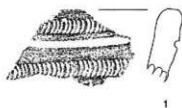
第10図 調査区位置図 (1/200)



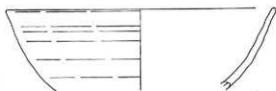
【No.1グリッド西面セクション図】

- 1 表土 耕作土。
- 2 褐色土 しまり、粘性ともに弱い。
- 3 褐色土 しまりあり、粘性強い。
- 4 褐色土 3層に似るも小礫を多く含む。
- 5 暗褐色土 3層に似るもやや暗い色調。
- 6 暗赤褐色土 しまり、粘性弱く砂利質。湧水あり。
- 7 暗褐色土 4層に似るも大型の礫を多く含む。

第11図 調査グリッド平面およびセクション図 (1/40)



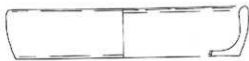
1



3



2



4



第12図 遺物実測図 (1~3: 1/2、4: 1/4)

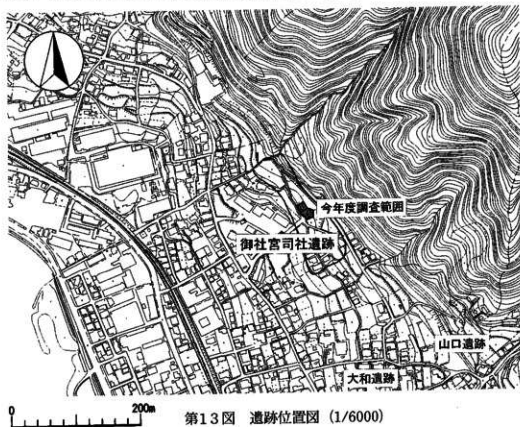
V 御社宮司社遺跡 (第3次)

- | | | | |
|---------|-------------------------------|---------|-------------|
| 1. 所在地 | 諏訪市大和 1-11280-1 他 | 5. 調査担当 | 中島 透 |
| 2. 調査期間 | 平成20年2月25日 | 6. 検出遺構 | なし |
| 3. 調査面積 | 8 m ² | 7. 出土遺物 | 磁器片 (近世～近代) |
| 4. 調査目的 | 砂防ダム建設にかかる工事用
道路設置に先立つ試掘調査 | | |

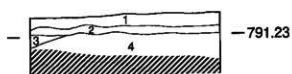
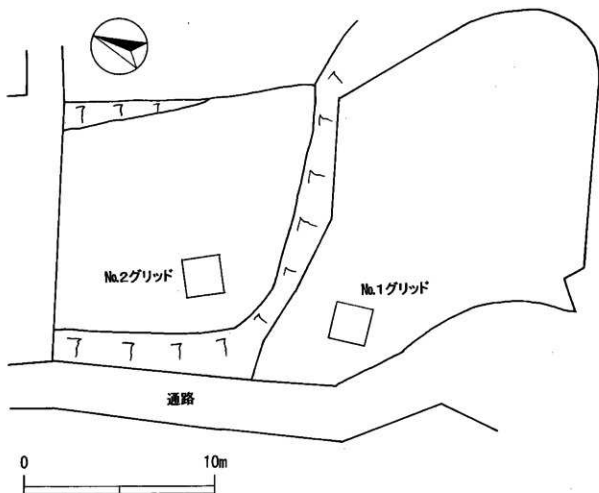
8. 調査概要

本遺跡は、下諏訪町との境の斜面上部に位置し (第13図)、御社宮司社があったことが名前の由来になっている。背後には中世の山城である大和城跡があり、麓には殿屋敷と呼ばれる地名が残っている。また南東300mほどの発達した扇状地上には山口遺跡や大規模な大和遺跡が、また川のやや上流には台御堂遺跡などがある。本遺跡についてはもともと下諏訪町境の一部のみが遺跡として把握されていたが、平成14年度の第1次調査で南東側にも広がりがあることが確認され、範囲が拡張されている。

今回、遺跡中央部付近の耕作地の一部に砂防ダム建設に伴う工事用道路の設置が計画されたため、対象箇所のうち耕作上の都合により今年度に調査が必要な部分について、第3次調査として事前に試掘調査を行った。2m×2mのグリッドを2箇所設定し掘り下げたところ (第14・15図)、いずれのグリッドでも遺構は検出されなかった。今回は遺跡の性格に関する発見はなかったが、本遺跡の調査事例はまだまだ少ないため、今回未調査の部分も含め今後も引き続き注意していく必要がある。

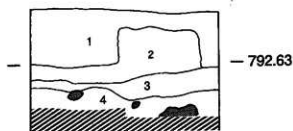


第13図 遺跡位置図 (1/6000)



【No.1グリッド南面セクション図】

- | | |
|--------|-------------------------------|
| 1 表土 | 耕作土。 |
| 2 黄褐色土 | しまり、粘性ともに強い。水田面。 |
| 3 明褐色土 | しまり、粘性あり。径5mm前後の
ローム粒子を含む。 |
| 4 暗褐色土 | しまり、粘性あり。径1cm前後の
小礫を含む。 |



【No.2グリッド東面セクション図】

- | | |
|--------|---------------------------------------|
| 1 表土 | 耕作土。 |
| 2 褐色土 | しまり非常にあり硬質。径1cm前後
のローム、赤色粒子を多量に含む。 |
| 3 明褐色土 | 2層に似るもより各粒子多量に含む。 |
| 4 褐色土 | しまり、粘性あるがやや砂質。大型
の礫を多量に含む。 |



第15図 調査グリッドセクション図 (1/40)

報告書抄録

ふりがな	しないいせきしくちょうさほうこくしょ							
書名	市内遺跡試掘調査報告書							
副書名	平成19年度諏訪市内遺跡試掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	諏訪市埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第63集							
編著者名	中島 透							
編集機関	諏訪市教育委員会							
所在地	〒392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30 Ⅸ0266(52)4141							
発行年月日	2008年3月25日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
おなほ 穴場遺跡	すわし かみすわ 諏訪市上諏訪	20,206	26	36° 02' 45"	138° 07' 49"	2007.5.9	8	個人住宅建設に係る事前調査
しみず 清水遺跡 (第9次)	すわし とよだ 諏訪市豊田	20,206	311	36° 00' 56"	138° 05' 18"	2007.6.14 ～ 2007.6.15	8	個人住宅建設に係る事前調査
しみず 清水遺跡 (第10次)	すわし とよだ 諏訪市豊田	20,206	311	36° 00' 57"	138° 05' 13"	2007.12.21 ～ 2007.12.25	8	個人住宅建設に係る事前調査
みしゃくじしや 御社宮司社遺跡	すわし おわ 諏訪市大和	20,206	1	36° 03' 30"	138° 06' 59"	2008.2.25	8	砂防ダム建設に伴う工事用道路設置に係る事前調査
所収遺跡	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
穴場	集落跡	縄文～近世		なし		土器片、陶磁器片		
清水	集落跡	縄文～近世		なし		陶磁器片、黒曜石片		
清水	集落跡	縄文～近世		住居跡1軒		土器片、陶磁器片、黒曜石片 骨製品		
御社宮司社	散布地	縄文～近世		なし		磁器片		
要約	<ul style="list-style-type: none"> ・穴場遺跡：個人住宅建設に伴い試掘調査を実施。遺物がわずかに出土したのみで、遺構の稀薄な場所であることが想定される。 ・清水遺跡(第9次)：個人住宅建設に伴い試掘調査を実施。遺物がわずかに出土したのみで遺構は発見されず。 ・清水遺跡(第10次)：個人住宅建設に伴い試掘調査を実施。住居跡と見られる遺構の一部を発見。保護処置を講じた上で埋め戻す。 ・御社宮司社遺跡：砂防ダム建設に係る工事用道路の設置に伴い試掘調査を実施。遺構は発見されなかったが、調査データが少ないため今後も注意が必要。 							



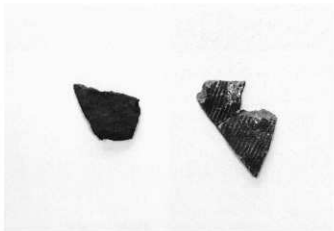
穴場遺跡調査風景



No. 1 グリッド完掘状況



No. 2 グリッド完掘状況



出土遺物(土器・陶器片)



出土遺物(黒曜石片)



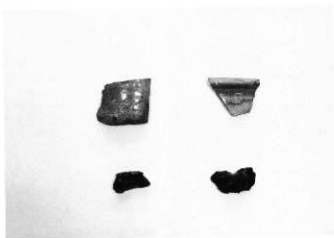
清水遺跡(第9次)調査風景



No. 1 グリッド完掘状況



No. 2 グリッド完掘状況



出土遺物



清水遺跡(第10次)調査風景



No.1グリッド完掘状況



No.1グリッド遺構検出状況



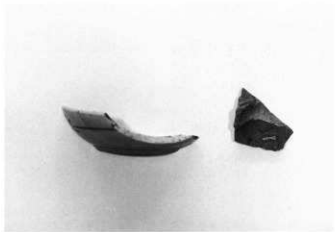
No. 2 グリッド完掘状況



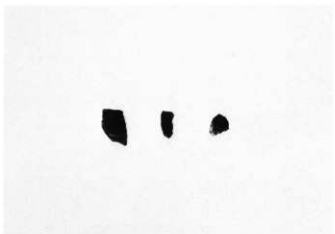
出土遺物(縄文土器)



出土遺物(陶器類)



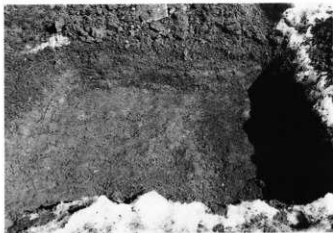
出土遺物(磁器類)



出土遺物(黒曜石片)



御社宮司社遺跡調査風景



No. 1グリッド完掘状況



No. 2グリッド完掘状況



出土遺物

市内遺跡試掘調査報告書（平成19年度）

— 長野県諏訪市内遺跡試掘調査報告書 —

平成20年3月25日

編集・発行 長野県諏訪市高島 1-22-30
諏訪市教育委員会

印刷 御オノウエ印刷
